



くまがみね

学校だより
2024 (令和6) 年 2月1日
福山市立熊野小学校

6年生が取材を受けました ～「福山城築城400年記念誌」発刊にあたって～

福山城の築城400年を記念し2017～22年度に実施された事業を振り返る記念誌が完成しました。市内の小中学校や図書館などに配布されています。記念誌は築城400年に合わせて天守北側の鉄板張りなど建築当時の外観を復元した大規模改修をはじめ、180以上の記念事業の概要が写真を豊富に使って紹介されています。その中に、昨年度の6年生が総合的な学習の時間に行った「講談」で地元の歴史を伝えた取組も掲載されています。



記念誌の発刊にあたり、熊野小学校6年生が新聞社の取材を受けました。休憩時間を使って、図書室で行いました。各校へ配布された記念誌を閲覧し、感想を述べるという設定でした。記念誌の中でお気に入りのページや、自分たちが学習してきた内容などを答えていました。

今年の6年生も常国寺などの史跡巡りの学習を行っていますので、これまで学んできた歴史学習を振り返り、自分たちの学びを発信する機会となりました。

卒業を控えた6年生にとって、また一つ思い出ができました。



(記事は1月31日付 中国新聞朝刊に掲載)

「夢のクルマ」製作プロジェクト進行中 ～「校長先生に挑戦！」～

今回は「夢のクルマ」製作プロジェクトについて紹介します。

学校の授業で、実際に乗って動かすことができる車を作ることができたら楽しいだろうなと思いませんか。やってみたらおもしろいかもしれないけど、実際には…。

誰もやらないようなことに挑戦してみる。ダイナミックな発想が学級を変える、学校を変えると、いつも思っています。先生方には、日頃から、おもしろい活動を計画すること、準備はしっかり行うけど活動は子どもに任せることなどを伝えています。「勉強しなさい」と言われなくても、子どもが自ら勉強するための「しかけ」を、先生が工夫する。これが教師の仕事の理想だと思います。

なかよし学級の子どもたちは「ものづくり」が得意です。その特長を生かして、クルマ作りに取り組むように担任に提案しました。担任の返答は、いろいろな条件を考慮すると、実際に活動を仕組むのは難しいということでした。

しかし、大きな目標を立てて、そこへ向かって挑戦する過程が大切であり、結果はどうなるかわからない。実際に車は走らないかもしれない、途中で作るのを断念するかもしれない。それでもよいのです。完成イメージは、市販されているスズキの「セニアカー」です。

このプロジェクトには大きなねらいがあります。学校発信で地域を巻き込むことです。材料や部品を調達すること、自動車の仕組みを知ること、利用している方の感想を聞くこと、これらのことを地域の方々に協力をいただきながら進めていこうと考えています。交流館の館長さんに相談したところ、早速、自動車のタイヤ、シートなどの提供を申し出ていただいております。ありがとうございます。



これからの最大の課題は動力源です。動くようにするために、何をどのように使うかということ。素人では分からないので、ゲストティーチャーを招き、その仕組みを教えてもらったり、部品を借りて使わせてもらったりする計画を立てています。

子どもたちが作った「クルマ」を地域の方々に使ってもらおうという「夢」のようなプロジェクト。どこまで実現できるかはわかりませんが、活動を通して多くの「学び」があることを願っています。

「熊野モーターショー2024 in なかよし」で完成披露できるように取組を進めていきます。